

ブラジル研修団 帰国式

投稿日時: 2014年12月3日 投稿者: editor

帰国

ほぼ定刻通り、全員無事に関西国際空港に到着しました。

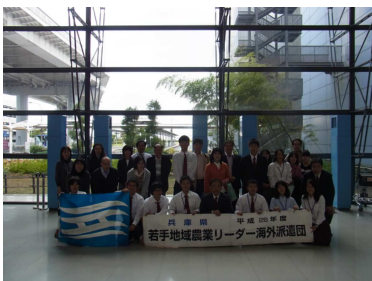
入国手続きをすませ、ゲートで待つ保護者の元へ帰ってきた研修生たちは、日焼けした顔と少したくましくなった顔が印象的でした。



出迎え後、帰国式に臨み、団長の挨拶の後には研修生を代表して、東雲高校の赤井さんより帰国の挨拶がありました。堂々と研修で得たことを話す姿には、出発前と比べものにならないくらいの成長を感じることができました。



帰国式後、研修生たちは家族とともに家路へと向かいました。



ブラジル研修団 13日目

投稿日時: 2014年11月28日 投稿者: editor

13日目研修報告

今日はアメリカの農業について学習しました。まず、2ヶ所のファーマーズマーケットと農産物生産・観光農園・直接販売を兼ねた農園を見学しました。

サンタモニカの海岸近くで毎週水曜日に開かれるマーケットでは、オーガニックの表示が多く、直接口にする農産物への安全性や新鮮さを求める消費者の高い関心、購買意欲によって日本ではなかなか普及が進まない有機栽培のアメリカでの姿を知りました。また、販売物の品数の多さやベビーリーフ、ハーブなどバリエーションも多く、ディスプレイの方法や数量などにも消費者を飽きさせない工夫が感じられました。

午後からは、アンダーウッド農園を見学しました。オーナーはコーネル大学出身で、農業と食に関して楽しみながら学習できる体験型農園がLA近郊にないことに着目し、現在の農園を経営されたとのことでした。年間10万人以上が訪れ、生産物も直接販売を行っていることから、収益も安定しているそうです。「作るだけの農業」からの脱却について、6次産業化のアメリカモデルが学べたと思います。



ブラジル研修団 12日目

投稿日時: 2014年11月27日 投稿者: editor

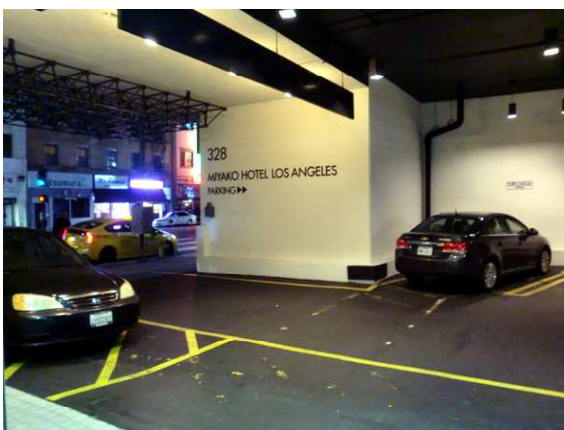
12日目研修報告

今日はこれまでで一番ゆっくりした朝を迎えました。8:00 までにほぼ全員が朝食を済ませ、8:45 に荷物を持ってロビーに集合。兵庫県人会会長に見送っていただき、バスで一路サンパウロ空港へ。途中は農産物の小売調査とお土産購入を兼ねて、大型スーパーに立ち寄りしました。ブラジルの通貨であるレアルを上手にを使ってブラジルでの最後の買い物をしました。

空港到着後にサンパウロでお世話になった地元ガイドさん、イグアスとロンドリーナを除いたすべての行程でお世話になったドライバーさんにお別れしました。後ろ髪を引かれながら一路ロスアンゼルスへ約 10 時間のフライト。



到着後はそのままホテルへ移動。全員元気で明日のファーマーズマーケットと農場見学に備えます。お休みなさい。



ブラジル研修団 11日目

投稿日時: 2014年11月27日 投稿者: editor

11日目研修報告

今日は 8:00 にホテルを出発。クリチーバの中央青果市場（セアーザ）に向けて出発。昨日までと違って少し肌寒く感じられる朝でしたが、日中は汗ばむ程でした。

農家が生産物を直接販売するブラジル版ファーマーズマーケットを横目に、荷車やトラックで次々に運搬される南国を感じさせる巨大な野菜や熟れて甘い芳香を放つ果物の卸問屋を次々に見学しました。途中で気になったものは試食もさせていただきました。青いバナナや長く大きなスイカ、カシューなど珍しいものも多く、外国での生産物の状況を知るととてもよい勉強になりました。また、生花市場では、伐採が禁じられているパラナ松の苗木や日本でも良く見かけるペチュニアなどの花壇苗、クリスマスの時期にしかみかけないポインセチアなどが年中供給されていることなどを知りました。



次に兵庫県・姫路事務所を表敬訪問し、団長より、井戸兵庫県知事からの親書を山下ブラジル兵庫県事務所長に手渡されました。

ブラジルでのシイタケやマッシュルーム栽培のパイオニアでもある山下事務所長がオーナーを勤められる山下農園では、きのこ類の原木栽培等を見学。ランチタイムには新鮮なキノコと最後となるシュハスコを屋外のテラスでいただきました。



国内線でサンパウロへの移動の後、19:00 からは地元新聞社2社の取材。団長と代表研修生が取材を受けました。引き続き、20:00 からはブラジル兵庫県人会の皆さん7名と新聞社の方を交えた夕食会を催しました。ブラジル最後の夜にふさわしい、県ご出身の先輩の皆さんが歩まれたブラジルでの歴史についてお話をうかがいました。明日はいよいよアメリカ（LA）に出発です。CHAO ブラジル！！



ブラジル研修団 10日目

投稿日時: 2014年11月24日 投稿者: editor

10日目研修報告

今日はいつよりも遅めの起床で、昨日に続きイグアスの滝の見学に向かいました。陸路で国境を越え、アルゼンチンに入国。ブラジルとの間にかかる橋の中央に国境のペイントが双方からされており、川のちょうど中央部分が国境との説明をいただいたものの、一瞬で通りすぎてしまい。シャッターチャンスを逃した研修生がほとんどでした。

イグアスの滝に隣接する国々が見渡せる3国国境を見学。日本では、見ることのできない不思議な感覚を味わいました。

アルゼンチン側から見るイグアスは、約2時間の自然公園内を歩いてたどり着いたこともあり、見えたときの喜びは昨日にもまして一塩のようでした。

園内のレストランでは、今日が誕生日の研修生のために、ケーキを準備して皆でハッピーバースデーを祝いました。きっと一生の記念になることでしょう。

夕方には国内線で、パラナ州最大の都市であるクリチバへ移動。夜には日伯日本語学校に併設する学生寮、ACEMAのみなさんが催してくださった歓迎会に参加。双方のスタンプの後、年齢が近いこともあってか、最後には一緒にダンスをして、楽しい夜の宴の幕を閉じました。



ブラジル研修団 9日目

投稿日時: 2014年11月23日 投稿者: editor

9日目研修報告

7:15 ACEMA駐車場にてホストファミリーのみなさんと涙なみだのお別れ。一週間のいろんな思い出がこみ上げてきて、さよならの言葉がうまく出ない様子でした。わずか1週間だけの滞在でしたが、研修生全員が心からのおもてなしに私たちが失いかけている大切なものを教えていただいたように思います。

午後からの見学先のイグアスまでは約6時間のバス移動。どっと疲れが出たのか、移動中は皆が熟睡していました。車窓からは延々と続く大豆畑が広がり、見慣れたとはいえ、広大なブラジルの国土とスケールの大きな農業を見て、日本の農業がこれからどの方向に進んでいけばいいのか?を考えているようで、時折、口々に「品質で勝負するしかない」「日本の技術を持ち込んだらもっとブラジルの農業が発展するのでは」など、研修生どうしで意見を交わしていました。

13:30 過ぎに、イグアスの滞在先ホテルに到着。公園の入り口では世界各国からの観光客を見て、口々にすごいを連発。また、園内は環境保全のため、電気自動車で移動。目的地に到着すると、「わー」と壮大な景色に口をあげっぱなしでした。轟く滝の音と水しぶきに地球の大きさと自然の力、人間の無力さを感じた瞬間でした。スピードボートでは、滝への接近を普段2回のところ、サービスで4回もしてくれて、びしょびしょに服を濡らしながらも感嘆の声をあげて、大喜びでした。

20:00 からはショーレストランで、バイキングメニューをいただきながら、南米各地のダンスショーを鑑賞。舞台のかぶりつきから見る圧巻の踊りに興奮気味の研修生一同でした。ショーの途中では、研修生2名がそれぞれ別の演目でステージに呼ばれ、500人以上の観客を前にパフォーマーと一緒に会場を盛り上げてくれました。貴重な経験に一同興奮が冷めやらぬ様子でした。





ブラジル研修団 8日目

投稿日時: 2014年11月22日 投稿者: editor

8日目研修報告

7:45に本日もカトリック中央教会前に集合。ブラジルの生活リズムに順応してきたのか、朝から穏やかで開放的な団員たちです。

8:00からは日系の老人ホーム和順会を訪問。日系人のみなさんの寄付により施設が建てられ、ボランティアを含めたスタッフで運営されていました。入所者の方と一緒に折鶴づくり、生徒団員によるお茶のお手前、書道パフォーマンス、おはなしなど高校生ができる心からのおもてなしをさせていただきました。

9:30からは、北海道札幌市の木村牧師が日系人のために開かれたセントロ・クルツラル・フランシスコザビエル教会を訪問。見学では、60歳以上のお年寄りを対象としたカルチャースクール。地下に設置されポルトガルから寄贈されたマリア像のある荘厳な空気の礼拝堂。また、市内でも高い評価を受けている小学校～高校までの教育施設を併設しておられました。これらの多くの施設が日本からの寄付で建てられたことや、日本人が美德としている「勤勉・誠実」などの精神を大切にされていることを教えていただきました。

昨日、一昨日の雨のため、午後から予定していたACEMAの駒込さんの大豆畑の見学は残念ながら中止となりました。急遽ですが、昼食などですでに食べているアフリカ原産のティラピアやナマズなどの釣堀で、セントロ・クルツラル・フランシスコザビエル教会婦人会のみなさんと昼食、午後のプログラムを行いました。

炎天下のため、釣りの後、ACEMAの鈴木さん宅でシュハスコを全員でいただきました。

20:00よりACEMAにて送別会。翌日に控えた年1回の民謡大会の準備等もあり、プールサイドのテラスを会場にいただき、歓迎会にも増して大勢の会員の皆様にお集まりいただき催されました。各ホームステイ先ごとに着席して、最後の晚餐を歓談を交えていただきました。集まっていた皆さんからマリंगाの歴史や日系人が歩んできた道のりのお話をあらためてうかがい、研修に対するみなさんの思いを再確認しました。明日は出発です。おやすみなさい。





ブラジル研修団 7日目

投稿日時: 2014年11月21日 投稿者: editor

7日目研修報告

7:30 にカトリック中央教会前で集合。昨日はプールの疲れもあり、ホームステイ先でバタンキューだった研修生がほとんどのようです。また、話を聞くとスーパーなどに連れていってもらったり、お土産用のお菓子などを沢山買っていただいているとのこと。

教会から徒歩 10 分のところにあるマリンガ市の市庁舎までは徒歩で移動。表敬訪問では、副市長からの町の紹介の後、次々と質問する研修生の姿があり、この1週間での変化を研修生自身が実感したようでした。また帰路では教会内の見学、町の中心として高くそびえる建物の内部の天井の高さ、ステンドグラスに感嘆の声を上げていました。



ウニセズマル大学では、地元クリチーバ市の歴史について、3代に渡って記録しておられる上田さんが寄贈された写真から学びました。バスで移動しての農場見学では、生産効率を重視した受精卵移植を取り入れた肉牛生産、魚の糞尿を利用した野菜栽培の研究などについて見学を行いました。



その後は、ACEMA日本語学校では、プレゼントの寄贈の後、現地の生徒たちとの日本語による自己紹介ゲーム、折り紙教室、書道で名前を書いてプレゼントするなど日伯交流の架け橋となりました。



ブラジル研修団 6日目

投稿日時: 2014年11月20日 投稿者: editor

6日目 研修報告

8:30 に町のランドマークとも言えるカトリック中央教会前に元気に全員集合。協会の形を模したツリー、町の名前を冠したマリンガ通りがそれぞれ姉妹都市である加古川市にあることを知って、「これが…」と生徒は頷いておりました。

教会前を出発して 30 分でマリンガ日本庭園に到着。移民 100 周年を記念して 2008 年に造成された、広大な敷地の庭園内を見学。造成にあたっては、資材と庭師が加古川市からやってきて出来上がったものと伺い、日本文化を大切にされていることに、再度関心していました。



日本の農協にあたるココマールでは、年間 100 億ドルにもなる業務内容の説明を受けて、世界をターゲットにした穀物、農産物加工の国際的な農業経営に関して次々に質問があり、予定時間を押してしまいました。シュハスコの昼食をいただいた後、バスで移動しながらの工場等の見学。大豆運搬のためのトラックの長蛇の列と巨大な貯蔵庫に息を飲んでいました。



30 分遅れで到着した文化体育協会（ACEMA）では、敷地内にある日本人学校の生徒からの歓迎の歌・プレゼント等の贈呈の後、研修団からの記念品贈呈、最後に記念撮影を行いました。

15:00 からは施設内のプールでレクリエーション。久しぶりの水の感覚と思切り体を動かすチャンスということもあり、疲れを忘れてはしゃいでいました。



ブラジル研修団 5日目

投稿日時: 2014年11月19日 投稿者: editor

5日目研修報告

7:45 各ホームステイ先から昨夜、歓迎会に参加したA S E M A（文化体育協会）に集合。少々、心配していたものの全員が元気よく「おはようございます」と言って集合。その後は、一路マリンガ市からアプカラナへ約1時間の移動。

アプカラナ農業高校では、到着後に交流会会場へ移動。校長先生のご挨拶・学校紹介の後、研修団をご紹介いただきました。また、研修生の自己紹介では、多少の違いはあれど、全員が日に日に上達しているポルトガル語で自己紹介をしました。

また、歓迎ダンスの後には、ステージでの記念撮影。さらに、研修生と受け入れ先生徒との交流ダンス大会が行われました。普段は物静かな印象のあの人が…会場全体を虜にする踊りを見せてくれました。

続いて、研修生を代表して、県立農業大学校が果樹栽培についての研究成果を発表しました。細かな手間の改善についての発表に受け入れ校の生徒は静かに聞き入っていました。

昼食までの交流会では、ポルトガル語の教本を片手に双方が熱心に語り合っていました。また、スマートフォンを利用した写真撮影などもあちらこちらで見られました。



昼食は、学校の学食で受け入れ先の生徒たちと一緒にとりました。フェジヨン、ご飯、スパゲッティ、アフリカ原産のティラピアのフライなどを一緒にいただきました。昼食後はけん玉やダンスなどでさらに親睦を深めていました。

午後からの農場見学では、畑での実習、大豆畑、酪農・畜舎等を見学しました。搾乳体験や企業の委託を受けた肥料の比較試験、オーガニックへの対応などについて積極的に直接話をうかがいました。

研修テーマである「挑戦」にそれぞれの生徒が精一杯取り組んだ1日でした。



ブラジル研修団 4日目

投稿日時: 2014年11月18日 投稿者: editor

研修報告（4日目）

本日は 6:00 起床。全員昨夜は早めに就寝したこともあり、6:45 より元気に朝食。7:30 にはマリリアのホテルを出発して、アプカラーナにある世界的な農業機械メーカー JACTO 社での見学に向かいました。

JACTO 社は京都府・宇治出身の日本人移民、故西村氏が 1948 年に創業。茶筒やエンジンオイル等の空き缶の食器へのリサイクル加工から身を起こされ、工業高校出身の知識と器用さと研究熱心な仕事ぶりで、町の農業機械の修繕、さらに背負式動力噴霧器の製造等を評価され、乗用型の大型コーヒー収穫機。現在ではコンピュータ操作が可能な両翼 36 m にもなる噴霧機等を金型から製造されています。



また、「ブラジルに恩返しをしたい」との思いから、旧西村農業高等学校等の学校を創立され、若者の教育にも尽力されています。苦難の道に信念を持って取り組まれた先人の歩み等、資料館での説明や工場見学に生徒たちは深く聞き入っていました。創業一族のみなさんとのランチタイムでは、本日



もご同行いただいている兵庫県人会の尾西会長、監査の県立農業高校・畜産科出身で養鶏業を当地で営まれている斎藤さまと一緒に手作りのアルバムを交えて歓談しながらいただきました。帰りには 6 箱ものマンガローゴ入りの帽子などをお土産として頂戴しました。



午後は約 4 時間かけて、ホームステイ先であるマリंगा市へ移動。さすがに少し疲れた様子でバスの中ではほとんどの研修生が熟睡。当市の文教体育協会（ACEMA）への到着後は、20:00 からのホストファミリーのご家族をはじめとする皆さんとの歓迎夕食会に備え、スタンプや日本から準備してきたお土産を準備。会の前には対面式が行われ、ホームステイ先ごとに着席。はじめは緊張していたものの、本やアルバムを片手にコミュニケーションをとりながら、終始和やかなムードで不安はなくなったようです。22 時過ぎには各家庭ごとに岐路に着きました。







ブラジル研修団 3日目

投稿日時: 2014年11月17日 投稿者: editor

研修報告 (3日目)

今日は 5:30 起床。7:00 にホテルを出発。体調不良者はなく、6 時間後のゴールを目指して一路マリリアへ。大都会サンパウロから約 1 時間もすると、車窓からはどこまでも続く高く青く澄み渡る青空の下、地平線の彼方まで続く延々と続く牧草地や広大なサトウキビ畑。さらにブラジルでは建築資材にも使用されるユーカリの植樹林が広がっており、まっすぐに続く高速道路と共に、研修生は写真や動画に収めていました。

見学先では、ヨーロッパの安全基準もクリアしたオレンジやトウモロコシ、綿、ピーナッツの皮などを飼料とした高品質のコブ牛の飼育。生産から加工までを行っているマカダミアナッツ農園。さらに、コーヒー、たわわに実るマンゴー、初めてみるマンジョッカ(タロイモ)の栽培について、普段学んでいる専門分野に関連する内容を、本を片手に次々と積極的に質問していました。

交流会では、これまで練習してきたスタンツの披露や自己紹介で終始和やかな雰囲気の中で、日系人のご家族と親睦を深めていました。最後には、現地での結婚式を模した男女 1 組のペアによるフォークダンスで研修生一同、飛び切りの笑顔を見せてくれました。



ブラジル研修団 2日目

投稿日時: 2014年11月16日 投稿者: editor

生徒が疲れを見せながらではありながら、
各人のペースで少しずつ研修に取り組んでいます。

ブラジルの青空をお届けします。

臨機応変で全力投球しております。



ブラジル研修団 1日目報告

投稿日時: 2014年11月15日 投稿者: editor

研修報告1日目

トゥードベン（お元気ですか）？

関空～仁川、仁川～LA、LA～SAO・グアルーリョス国際空港の順に移動。トランジット先では、積極的に買い物などお店めぐりをしたり、ゆっくりくつろぐなどそれぞれにリラックスして過ごしました。



約28時間ほどでブラジル連邦共和国に到着。慣れない飛行機での長時間移動で、熟睡できなかったようで、市内観光→ホテル到着（久しぶりのシャワータイム）→移民資料館見学→夕食と何とか2日間を乗り切りました。移民館では106年前にルーツをたどる先人の歴史に一感銘を受けながら、一生懸命メモをとっていました。



夜食はブラジルサイズのボリュームをものともせず、全員無事に完食しました。明日は5:30起床、7:00出発で6時間先のマリリアを目指します。

では、チャオ！

ブラジル研修結団式

投稿日時: 2014 年 11 月 14 日 投稿者: editor

14 日、関西国際空港にて、出発式を行いました。



出発式の後、ブラジル研修団の 12 名は、元気に仁川国際空港に出発、そこからロサンゼルス経由でブラジルに向かいました。ブラジルで多くの農業を見学して研修を深め、一回り大きな農業人になれるよう、がんばってきて欲しいです。

